

公益社団法人日本地震学会平成29年度第1回理事会議事録

1. 日 時 平成29年4月19日(水) 10:00~12:20
2. 場 所 東京大学地震研究所セミナー室A
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事11名, 監事3名, オブザーバー1名
 - ・理事: 山岡耕春, 谷岡勇市郎, 古村孝志, 木下正高, 片尾 浩, 竹中博士, 津村紀子, 鶴岡 弘, 中川和之, 松島信一, 山野 誠
 - ・監事: 石川有三, 加藤照之, 鈴木善和
 - ・オブザーバー: 日本地震学会賞選考委員長
 - ・事務局: 中西のぶ江, 岡野美紀子

5. 審議事項

議長山岡耕春は、本日の理事会の理事出席者が11名であり定足数を満たしているため、理事会が成立することを宣言した。続いて、以下の議案について、逐次審議に入った。

第1号議案 日本地震学会賞の受賞者の決定について

2016年度日本地震学会賞推薦候補者について日本地震学会賞選考委員長より受賞候補者1名の選考理由について説明があり、業績および学会等での発表履歴を規定に則り選考を行ったことが報告された。同選考委員会から推薦された候補者1名について審議の結果、日本地震学会賞受賞者とし、以下の通り決定した。

受賞者: 金森博雄

授賞対象業績名: 巨大地震の発生機構とその多様性の解明

第2号議案 平成28年度事業報告案について

木下常務理事より監事による監査を受けた平成28年度事業報告案について説明が行われた。審議の結果、原案を一部修正のうえ承認し、総会に付議することとした。

第3号議案 平成28年度収支決算報告案について

鶴岡会計担当理事の指示により事務局員から監事による監査を受けた平成28年度収支決算報告案について説明が行われた。特に予算対比資料を基に各事業の予算執行状況について説明が行われた。審議の結果、原案を全会一致で承認し、総会に付議することとした。

第4号議案 教員免許状更新講習の後援について

山野学校教育担当理事より、昨年度に引き続き、東京大学地震研究所で行われる教員免

許状更新講習について、東京大学地震研究所に後援名義申請をしたいとの説明があり、全会一致で承認した。

第5号議案 協賛・後援依頼について

以下3件の資料が回覧され、審議の結果、協賛、後援名義の使用を許可した。

協賛：地震防災フォーラム2017、第58回高圧討論会

後援：第4回「震災対策技術展」大阪、

既刊本講習会「地盤震動研究を活かした強震波形の作成法」

第6号議案 入会承認について

議長から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった5名（内学生2名）の入会を全会一致で承認した。

6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 議長より、正会員12名（内学生5名）の退会届が提出されたとの報告があった。また提出された退会届のうち、通常代議員からの届出があり、退会届を受理するにあたり、定款第14条に基づき補欠の代議員の選任を行うことが報告された。
2. 議長より岩田理事（欧文誌運営担当）から提出された資料に基づき、欧文誌運営委員会の業務報告および今後のEPS運営分担金負担に関する資料について説明が行われた。EPS運営委員会における欧文誌運営委員の役割分担（岩田委員長：基金の会計、三宅委員：広報）が報告された。EPS運営委員会から平成30年度の分担金の増額について、分担金比率の決め方について意見を求められていることが説明された。状況について検討した結果、分担金増加は、本学会でのEPSの意義の大きさ、貢献の大きさを鑑み、やむを得ないと考え、分担比率については会員数・年会費・和文誌の発行状況を根拠とすることが適当ではないかとの意見が出され、総会において会員に状況を説明したうえでEPS運営委員会へ回答を行うこととした。
3. 松島理事（災害調査担当）から業務執行報告が行われた。4月15日に開催された熊本地震・1周年報告会について、参加者は500名以上で松島理事および九州大学の松本聡会員が発表を行ったことが報告された。
4. 中川理事（普及行事・ジオパーク担当）から業務執行報告が行われた。今年度の地震火山子どもサマースクールの2日目に住民セミナーを開催し社会活動基金の活動を行う予定であること、来年度の開催地について大島町から応募があったことが報告された。

ジオパーク支援委員会については設立経緯を5月号のニューズレターに掲載予定であることが報告され、委員の公募については総会後に行うことが報告された。

5. 加藤監事より、IAG-IASPEI2017の準備状況についてIAGおよびIASPEIの両事務局長と打ち合わせを行っていることが報告された。

6. 古村理事（連絡会議担当）から業務執行報告が行われた。第9回地震学を社会に伝える連絡会議議事録が提示され、南海トラフ地震予測可能性に関するミニシンポについて、ホームページの改修について等、議事録に基づき活動報告が行われた。新ホームページへの移行は5月14日を予定していること、会員専用ページの閲覧方針についての説明が行われた。なお、ミニシンポは6月17日の開催を予定しており、大震法の議論を主軸においた企画とすることが説明され、企画の詳細についてはコンビーナに一任することとしたことが報告された。また、モノグラフの刊行についての意見があり、一般からの投稿も含めてモノグラフとして昨年度からの一連の活動をまとめることを検討することとした。

7. 木下常務理事から業務執行報告が行われた。原子力総合シンポジウム運営委員会への出席について、これまでの経緯と、昨年引き続き原子力総合シンポジウムの共催依頼が日本学術会議からある旨が報告された。

7. その他（意見交換）

以下の意見交換が行われた。

1. 石川監事より、次期総会での名誉会員の推薦について質問があった。議長より会員から名誉会員の推薦はないことが説明された。名誉会員の推薦について意見交換が行われ、名誉会員の候補者として適当な会員の推薦を行うための具体的な方針を検討した。

2. 松島理事より、会員から理事会の開催予定の公表はないのかとの質問があったことが報告された。審議事項の事前公表は難しいが、開催予定については事前に会員へ周知することを検討することとした。